

8. 食品中のメチル水銀定量を目的としたフェニル誘導体化-GC-MS 法の性能評価

保健科学課 坂本 智徳・赤木 浩一・樋脇 弘
国立医薬品食品衛生研究所 渡邊 敬浩・松田 りえ子

第 100 回日本食品衛生学会学術講演会

メチル水銀の一日摂取量調査を可能とするため、広範な食品に適用可能なメチル水銀の分析法の開発を検討し、フェニル誘導体化-GC-MS法による認証標準試料およびトータルダイエット (TD) 試料を用いた性能評価を行った。認証標準試料の分析結果から推定された真度は86 ~112%、併行精度は10%未満であった。また、TD試料を用いた添加回収試験(添加濃度0.01 μ g/g)の回収率は65~130%であった。本研究は、平成22年度厚生労働科学研究費補助金・食品の安心・安全確保推進研究事業(課題名 食品を介したダイオキシン類等有害物質摂取量の評価とその手法開発に関する研究)の一部として実施した。